

リズムある生活習慣で子どもの学力向上を！

～『早ね早おき朝ごはん』の取り組み～



登別の未来を担う子どもたちが、希望と高い志を持ち、心豊かにたくましく生きる人間として成長するためには、基礎的な知識はもちろん、学んだことを生かして自ら考え、主体的に判断し課題を解決することができる『確かな学力』を身に付けることが必要です。このため、学校・保護者・地域がそれぞれの役割を果たすとともに、知恵を出し合い、子どもの学力向上に取り組む必要があります。

今月号では、登別の子どもの学習の現状や、リズムある生活習慣で学力の向上を目指す『早ね早おき朝ごはん』の取り組みについてお知らせします。

登別の子どもの学習の現状

平成19年度から3年間、小学6年生と中学3年生を対象に、国語、算数（数学）の2教科で実施された『全国学力・学習状況調査』では、登別の子どもの平均正答率は全道平均並みでしたが、全国と比較すると、基本的な知識はおおむね定着しているものの、学んだことを活用する力に課題が見られました。

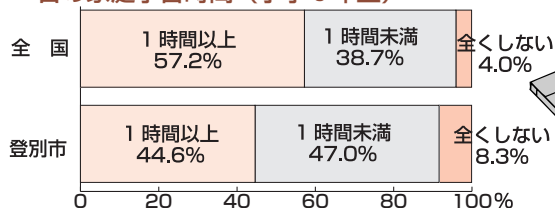
また、登別の子どもたちは、全国と比べて家庭学習の時間が不足しています。特に、中学生では全く家庭学習をしない生徒が多く、原因として、小・中学生ともテレビやゲームなどに時間を費やしていることがわかります。

各学校では、朝読書、移動図書館車『こぐま号』の活用、図書ボランティアによる読み聞かせの活動など、本に親しむ機会を設けていますが、子どもの読書時間は、全国と比較すると十分であるとは言えません。

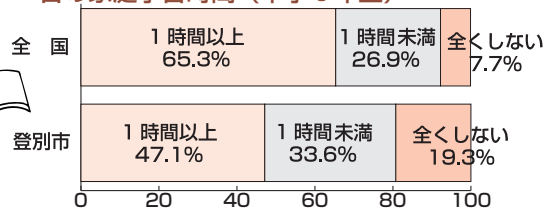
市は、平成20年度から、学習意欲の向上や学習習慣の確立、基礎的な知識・技能の習得などを目標とした学力向上プランを作成し、授業前の朝学習や少人数指導、退職教員を活用した学習サポートなどを行っています。

平成21年度全国学力・学習状況調査結果

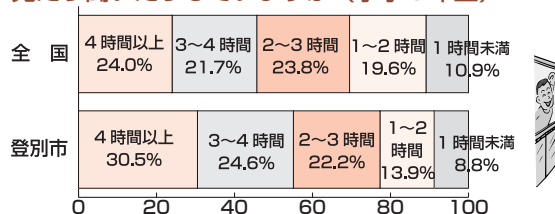
一日の家庭学習時間（小学6年生）



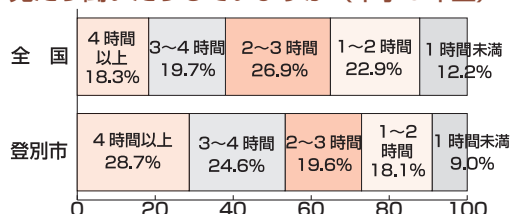
一日の家庭学習時間（中学3年生）



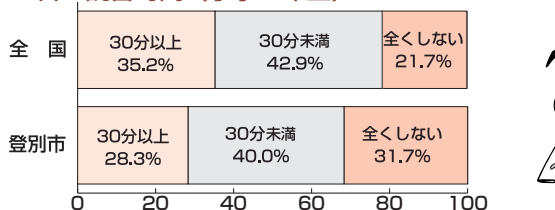
普段、どれくらいの時間、テレビやDVDを見たり聞いたりしていますか（小学6年生）



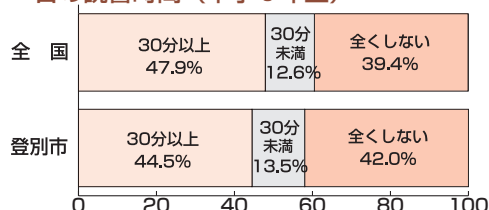
普段、どれくらいの時間、テレビやDVDを見たり聞いたりしていますか（中学3年生）



一日の読書時間（小学6年生）



一日の読書時間（中学3年生）



※グラフは、各項目で表示単位未満を四捨五入しているため、合計が100%にならない箇所があります。

学習習慣を身につける（家庭での学習のすすめ）

学校の学習だけで内容を十分に理解し、身に付けることは難しいことです。学校から帰宅したら、授業で学習したことを振り返るとともに、明日の授業の準備をきちんとすることが大切です。

◎家庭で学習するときの心構え

- 勉強と遊びのけじめをつける
- 決まった時間に、机に向かう習慣をつくる
- 学習の計画を立てて、毎日目標を持って実行する
- テレビを見ながらの学習など『ながら学習』はせず、集中して勉強する
- やる気を出すため、好きな教科から勉強する
- 自分で『できた喜び』を体験する

